

単元名 短調のひびき

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、ハ長調やイ短調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫しどのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりすることができる。
- (3) 長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

06070103_001

【教材名】 マルセリーノの歌 (歌唱 器楽) ハンガリー舞曲第5番 (鑑賞) (P.12～P.13)

【準備等】 範唱CD, 鑑賞CD, 鑑賞プリント, リコーダー, 鉄琴, 低音楽器 (オルガンなど)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「マルセリーノの歌」を音の重なりに気を付けて演奏する。</p> <p>★せん律やひびきの変化をとらえて演奏しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主旋律を聴唱法で歌い、学習課題をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴いて、演奏の順序を理解する。 ・聴唱法で歌詞唱をする。 ○曲全体の旋律の感じについて、気付いたことを話し合う ○ハ長調とイ短調について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器で音階を演奏したり聴き比べたりして、感じの違いをつかむ。 ○主旋律をリコーダーで演奏をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・1を練習する。 ・2を練習する。 ・リコーダーで合奏をする。 ○パートに分かれて合奏の練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・パートを決める。 <ul style="list-style-type: none"> リコーダー…主旋律 鉄琴…和音パート (和声 響きの色の变化や音に広がりを与える) 低音…低音パート (旋律や和声を支える) ・旋律の流れや和音の構成を感じ取りながら練習する。 ・個人でそれぞれの楽器を練習する。 ・合奏の練習をする。 ○響きの変化を感じ取りながら合奏をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・パートの役割や音量のバランスに気を付けたり、強弱の変化を工夫したりする。 ・ハ長調とイ短調の曲想の違いを感じ取りながら演奏をする。 <p>3 「ハンガリー舞曲第5番」を曲想の変化に気付きながら鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽に合わせて指揮をしながら聴く。 ○気付いたことを鑑賞プリントに記入し、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・主部と中間部の違い ・主部の特徴 	<ul style="list-style-type: none"> ・前半部分がハ長調に変化することに気付き、その変化を意識させる。 ・D. C. (ダ・カーボ)やFine(フィーネ)について確認をする。 ・アの「もの悲しい感じ」とイの「日が差すように明るくなった感じ」の違いに気付かせる ・P.13の音階の図を参考にする。ハ長調とはハ(ド)の音を主音とした長調の音階。イ短調はイ(ラ)の音を主音とした短調である。共に楽譜には調号(ト音記号やヘ音記号の横につく#やb)がつかない。短調は主音から数えて2番目と3番目、5番目と6番目、7番目と主音がそれぞれ半音の関係になり、もの悲しいような独特な雰囲気曲調となる。(長調は3番目と4番目と7番目と主音のみ半音の関係) 【新出】イ短調とハ長調の音階 【共通事項】音階や調 【評】曲想と調など音楽の構造について話し合う活動を通して「知識」を評価する。 ・リコーダー「#ソ」の運指や鍵盤楽器「#ソ」の場所を確認する。 【新出】リコーダー「高いファ」の運指 ・リコーダー「高いファ」の運指を確認する。 ・息継ぎのタイミングをそろえ、全体的に滑らかに演奏するように助言する。 ・鉄琴のパートの演奏が難しい場合は、リコーダーパートだけでもよい。 ・パートの役割については5年生の学習を想起させる。 【資料】和声とは和音と和音のつながりのことである。 【評】ハ長調やイ短調の楽譜を見て演奏する活動を通して「技能」を評価する。 ・音量のバランスやパートの役割を考えて演奏するようにする。 ・イの部分の変化を意識して表現させる。 【共通事項】音の重なり 和音のひびき 【評】長調と短調の響きの違いを聴き取りながら演奏する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・聴くポイントを明確にし、曲想の変化に気を付けて聴かせる。 ・旋律の繰り返しや変化に気付かせる。 【共通事項】反復 変化 速度 ・聴くポイントを、旋律・響き・速度にしぼり曲想の変化を感じ取らせるようにする。 【評】長調と短調の響きや速度の変化を聴き取

・ 中間部の特徴

り，それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら聴く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】